

問1 明治政府が1871年に行った、それまでの藩を廃止して新たに府や県を設置し、中央政府から知事（県令）を派遣して地方の直接統治を開始した改革の名称を答えなさい。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 廃藩置県                      2. 版籍奉還                      3. 徴兵令                      4. 地租改正

問2 1871年に明治政府が実施した「廃藩置県」の目的として、最も適切な説明を選んでください。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 藩による地方支配を終わらせ、中央政府が全国を直接的な統治下に置くことで中央集権体制を確立するため                      2. 各地域の藩主（大名）に強い自治権を与え、地方分権による安定した国家運営を目指すため                      3. 全国を複数の独立した国家に分割し、それぞれの地域で独自の軍隊を持たせるため                      4. 江戸幕府の制度を維持しながら、知事という名称だけを新しく導入して地方の不満を抑えるため

問3 明治政府が近代国家の仕組みを整えていく過程において、1868年の「五箇条の御誓文」から1889年の「大日本帝国憲法」発布に至るまでの政治の流れを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 広く会議を興すという方針が示された後、自由民権運動の高まりを受けて国会開設が約束され、立憲国家の体制が整えられた                      2. 王政復古の大号令によって直ちに国会が開設され、その直後に廃藩置県によって地方自治が完成した                      3. 欧米の技術を取り入れるために、憲法の制定よりも鎖国体制の維持を優先し、武士の身分を強化した                      4. 文明開化の影響で国民の政治への関心が失われたため、政府は国会を開設せずに内閣制度だけで統治した

問4 廃藩置県が行われた際、地方の行政組織はどのように変化しましたか。滋賀県のように、当初は複数の県が置かれた後に整理・統合された事例を踏まえて、正しい説明を選んでください。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 藩を廃止して置かれた県に、政府が中央から知事を派遣して直接的な統治を行うようになった                      2. 藩の名称を県に変えただけで、引き続き元の藩主がその土地の支配を継続した                      3. 地方の混乱を避けるため、すべての県において住民による選挙で知事を選ぶ制度が導入された                      4. 天皇による親政を強化するため、全国の県を廃止してすべてを一つの大きな直轄領とした

問5 1868年（慶応4年）、明治天皇が神に誓う形式で発表した、明治新政府の政治の基本方針を何といいますか。（2017年 和歌山公立入試 類似）

1. 五箇条の御誓文                      2. 五榜の掲示                      3. 教育勅語                      4. 大日本帝国憲法

問6 明治政府は欧米諸国に対抗できる国づくりを目指し、交通網の整備を進めました。1872年に日本で最初の鉄道が開通した際、営業が開始された区間として正しいものを選択してください。（2019年 大阪公立入試 類似）

1. 新橋・横浜間                      2. 東京・京都間                      3. 新橋・富岡間                      4. 横浜・神戸間

問7 明治新政府は、欧米諸国に倣って社会制度の近代化を進めました。その一環として、1873（明治6）年から導入された、1年を365日、1週間を7日とする暦を何といいますか。（2021年 山口公立入試 類似）

1. 太陽暦                      2. 太陰太陽暦                      3. ユリウス暦                      4. 二十四節気

問8 明治政府が行った地租改正では、土地の所有者や地価が記された地券が発行されました。江戸時代の年貢とは異なり、この改革によって定められた税の納め方はどのようなものでしたか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 現金                      2. 米                      3. 特産物                      4. 布

問9 岩倉使節団が最初に訪れたアメリカ合衆国の当時の状況と、視察の目的について述べた文として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 南北戦争が終結して国家の再建が進むアメリカを訪れ、不平等条約の改正準備と諸制度の視察を行った                      2. 独立戦争の最中であったアメリカを訪れ、イギリスからの独立を支援するための軍事同盟を模索した                      3. 世界恐慌による不況に苦しむアメリカを訪れ、金本位制の導入に関する経済的な助言を求めた                      4. 第一次世界大戦後の国際連盟結成を前に、アメリカ大統領と平和条約の締結について協議した